

教科	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2	開講対象 年次コース	1年次 必修
使用教科書		高等学校家庭基礎 持続可能な未来をつくる(第一学習社)					
副教材等		最新 家庭 生活ハンドブック 資料&成分表(第一学習社)					
備考(履修条件等)							

### 1 科目の学習到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

#### (1) 評価の観点

観点	趣旨
①知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。
③主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

#### (2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点および評価の割合	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	考査 (年2回)	確認テスト	実習
①知識・技能	単元毎の確認テスト、考査、授業内のプリント、実習課題の達成状況	○		◎	◎	○
②思考・判断・表現	授業内のプリント、ペアワーク、グループワーク、授業の様子、ホームプロジェクト、考査など	○	◎	○		
③主体的に学習に取り組む態度	授業、実習、グループワーク、プリント等の内容	◎	○			◎

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

### 3 担当者から

これまでの生活を振り返り、課題を見つけ、将来の生活設計に向けて、より健康、快適、安全に生活していくための力を育てていく事を目標として授業を行います。皆さんには、多様な生き方やライフスタイルを認め、自分の生き方を確立し、社会の一人として人と協力・協働することが出来る人になってもらいたいと思っています。そのためにも、広い分野の知識や技術を身に付け、多くの人とコミュニケーションを取り、様々な事に挑戦をしていきましょう！

#### 4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	第1章 これからの生き方と家族 第1節 生涯の生活設計	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯発達</li> <li>・生涯発達青年期の課題（2）</li> <li>・キャリアの形成・ワークライフバランス</li> </ul>
5	第2節 家族・家庭と 社会との関わり	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族、家庭、世帯（グループワーク）（2）</li> <li>・家族に関する法律（2）</li> <li>・家族、家庭の働き（2） ※確認プリント</li> </ul>
6	第3章 充実した生涯へ ・高齢期 第4章 とともに生きる 第6章 衣生活をつくる	4 1 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超高齢社会を生きる・人生のなかで高齢期をとらえ</li> <li>・高齢期の生活 ・高齢社会を支える</li> <li>・社会保障制度</li> <li>・充実した高齢期へ ・人の一生と被服</li> </ul>
7	第2節 被服材料と管理	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の素材、選択方法、手入れと保管</li> <li>・被服実習（基礎縫い）</li> </ul>
8	第8章 経済生活をつくる 第1節 暮らしと経済 (前期期末考査)	5 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生とお金 ・収支のバランス</li> <li>・将来の経済生活を考える</li> <li>・契約</li> </ul>
9	第2節 消費者問題を考える 第3節 持続可能な社会 をめざして	4 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費問題（ロールプレイング）（3～4）</li> <li>・消費生活と持続可能な社会</li> </ul>
10	第5章 食生活をつくる 第1節 人の一生と食事 第2節 栄養と食品	3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちと食事 ・健康に配慮した食生活</li> <li>・私たちと食事 ・持続可能な食生活</li> <li>・人体と栄養（5大栄養素）</li> </ul>
11	第3節 食生活の安全 第4節 食生活をデザインする	3 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の選択と保存 ・食品の安全と衛生</li> <li>・栄養バランスの良い食事（栄養計算・献立作成）</li> <li>・調理実習（3回予定）</li> </ul>
12	ホームプロジェクト	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を見つける→実践計画を立てる</li> <li>→実践する→振り返り（まとめ）</li> </ul>
1	第2章 次世代をはぐくむ ・子どもの発達	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命のはじまり</li> <li>・乳幼児の体、心の発達</li> </ul>
2	第7章 住生活をつくる 第1節 人の一生と住まい (後期期末考査)	4 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちと住まい ・平面図の活用</li> <li>・住まいの工夫</li> </ul>
3	第2節 住生活の計画と選択	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適で健康な住まい（住宅設計）</li> </ul>
備考	<p style="text-align: center;">70</p> <p>■被服実習では、針、糸がセットになった教材を使用します。それ以外のハサミなどは各自で準備をお願いします。</p> <p>■調理実習ではエプロン、バンダナ、ハンカチを持参してください。</p>		